

ダイオキシン類汚染土壌浄化技術等緊急実証調査について  
(平成11年度予算要求)

1. 目的

これまで我が国ではダイオキシン類に係る汚染土壌の浄化対策が行われた事例が皆無であり、浄化対策手法の確立が急務となっている。

このような事態を踏まえ、

ダイオキシン類汚染土壌の種々の浄化技術を実証するとともに、  
多様な対策（覆土、植栽、浄化等）による環境リスク低減効果や周辺環境への影響を検証する

ことにより、汚染土壌対策技術を総合的に体系化し、技術指導のためのマニュアルを策定する。

(事業実施年度：平成11年度～14年度、平成11年度要求額：5億円)

2. 実施スケジュール(案)

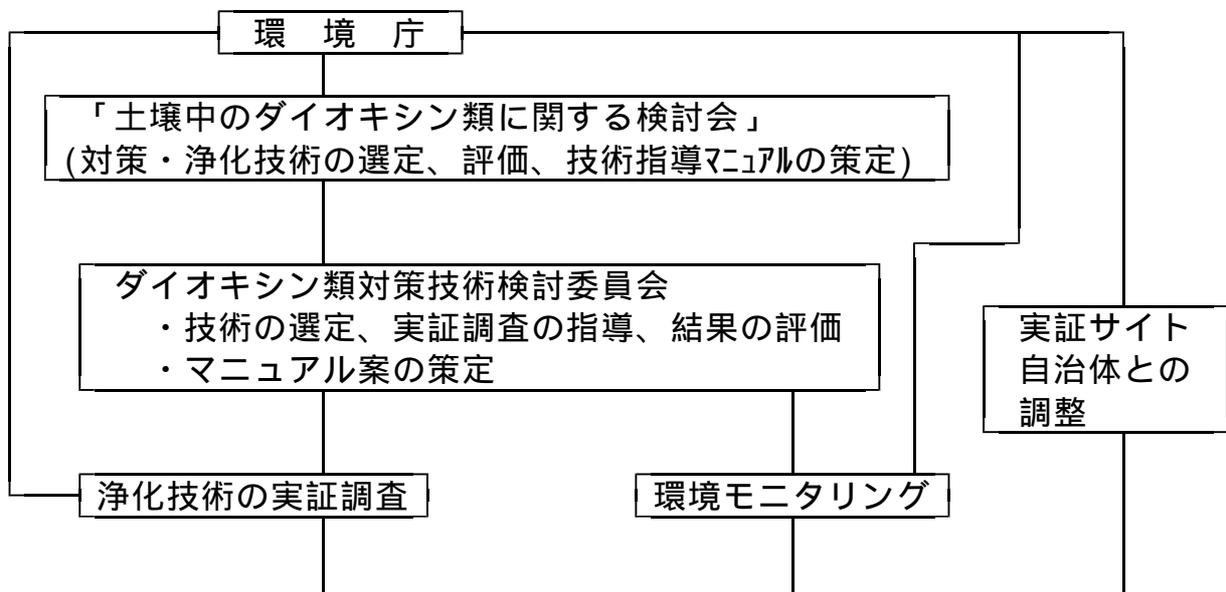
平成11年

- 4月 ・ 委員会を設置し、  
浄化技術実証試験の対象技術の選定方針  
実証/モニタリングの対象となる汚染サイトの選定方針
- ・ 土壌浄化技術の公募の開始
- 5月 ・ 実証技術/汚染サイトの選定
- 6月 ・ 汚染サイトの環境モニタリングの実施
- ・ 土壌浄化技術の実証試験の開始

平成12年

- 3月 ・ 浄化技術/対策手法の評価

3. 推進体制(案)



## 実証を行う汚染サイト